



## 日本政府の資金協力により住民810人が安全な水にアクセスできるようになる。

在エルサルバドル日本大使館 | 2023年2月

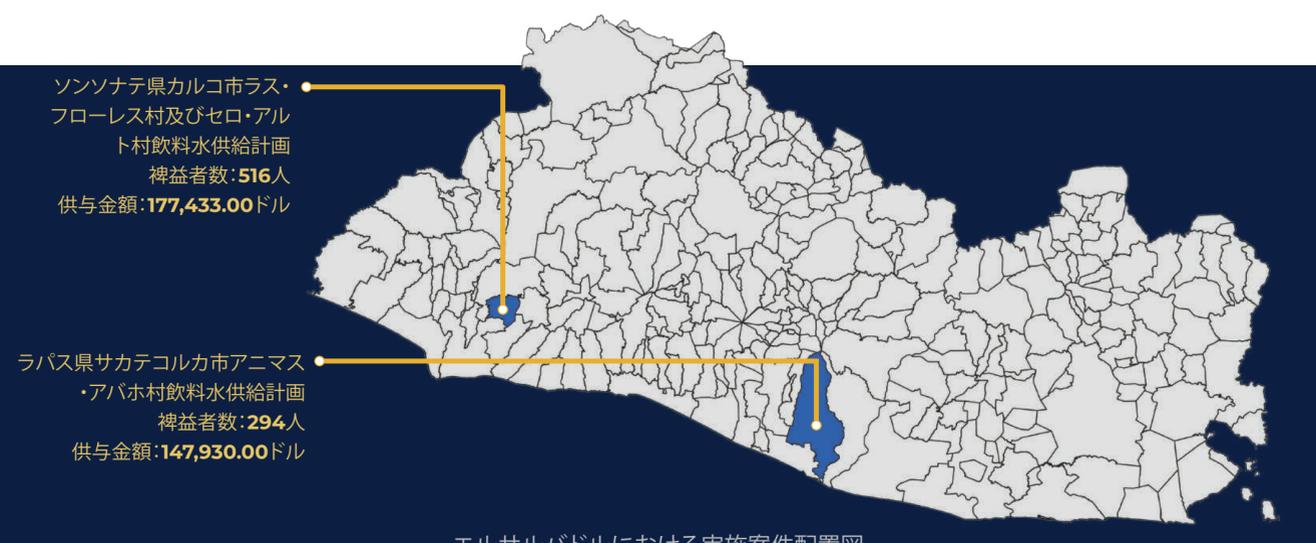
飲料水供給計画2件にかかる草の根署名式。

2023年2月1日、在エルサルバドル日本国大使公邸において、有吉大使及び供与先各団体代表との間で「草の根・人間の安全保障無償資金協力」2件(民生分野、支援総額325,363米ドル)の贈与契約の署名が行われました。

今回署名された案件は、上水道システムの設備を目的としており、案件実施によりソンソナテ県カルコ市ラス・フローレス村及びセロ・アルト村とラ・パス県

サカテコルカ市アニマス・アバホ村の252世帯、810人の住民が安全な水にアクセスできるようになります。対象地区は10年以上の年月をかけて資金確保に努めてきましたが、プロジェクトを立ち上げる十分な額には至っていませんでした。しかし、この度日本からの資金供与により、実現可能となりました。

本件実施により、対象地区内の教育機関の生徒や教師、教育関係者も含め、衛生・生活環境及び教育環境の改善が期待されます。



「草の根・人間の安全保障無償資金協力」とは、日本政府が開発途上国において地域住民の福利向上を目的として実施し、現地における具体的かつ比較的小規模なプロジェクトに対して行う無償資金協力です。主に、NGO、病院、小学校などの非営利団体が、開発プロジェクトを実施できるよう支援する為に無償で資金を供与しています。エルサルバドルにおいては30年以上に渡り、440件以上のプロジェクトを実施しています。

これらのプロジェクトには、日本政府のみならず今回のカルコ市やサカテコルカ市といった対象地区の市役所も資金提供しています。また、村の社会経済開発を目的とし、地域住民の生活に裨益する活動を行っているローカルNGO(村落開発協会)も積極的に計画に参画し、運営・実施に尽力しています。更に、住民一人ひとりも、役務提供という形でプロジェクトに貢献しています。



### 贈与契約署名

左:ソンソナテ県カルコ市被供与団体代表者ら  
右:ラパス県サカテコルカ市被供与団体代表者ら

「本日署名する2つの案件を通じてエルサルバドルの社会開発に貢献することができ嬉しく思います。「草の根・人間の安全保障無償資金協力」は、人々の生活水準や生活環境の改善を目的としています。日本はエルサルバドルにおいて、現在までに440件以上のプロジェクトを実施しており、贈与総額は4千万ドル、裨益者総数は160万人にのぼります。日本は、自らの開発経験に基づき、飲料水供給、教育、保健の3分野を優先的に支援してきています。本日の署名式は始まりに過ぎません。本プロジェクトの竣工後においては、皆さんの子どもや孫の世代が当プロジェクトの恩恵を享受しつつつけられる様に、責任をもってこの上水道施設を維持・管理していただくようお願いします。」



有吉勝秀  
駐エルサルバドル日本大使



コルネホ・カルコ市長

「カルコ市の裨益者を代表して、日本政府及び日本国民の皆様にご心より感謝を申し上げます。ラス・フローレス村及びセロ・アルト村には、給水設備がなく、老人までもが長距離を重い水瓶を担いで自宅まで運ばなければなりません。また、水がガソリン代より高価な地区でもあります。本プロジェクトは、村の人々およびコミュニティの生活水準に直接的に影響を与えます。カルコ市役所は、コミュニティと一丸となり、本プロジェクトを完遂するために尽力し、実施後は、責任をもって給水設備を管理することを約束致します。」

「私達は、長年に渡って各家庭に水が行き渡るよう奮闘してまいりました。そして本日、今までの努力が報われ、日本の大きな支援により、夢が叶うことになりました。これは私達のコミュニティにとって大きな喜びです。」



ペーニャ・アニマス  
アバホ村落開発協会会長



モレノ・サカテコルカ市長

「本日は、サカテコルカ市にとって歴史に残る、喜びに満ち溢れる日となりました。日本の皆様のご協力により、何十世帯もの家庭に命に欠かすことのできない大切な飲料水を届けることができるようになります。」

日本は、飲料水の供給、教育そして保健の3分野を最優先に、エルサルバドルの開発のために支援して下さっています。アニマス・アバホ村住民の夢を叶えることができますことを、市を代表して感謝申し上げます。」

